

発達障害のある子どもの二次障害と 心身症を理解する

～二次障害を予防する・二次障害に気づく・二次障害に対応する～

外見からではわかりにくく、個性とも区別がつきにくい発達障害は気づきが遅れると、本人は様々な苦闘を繰り返した結果、失敗経験の積み重ねや本人を傷つける心ないことばによって自信をなくし、意欲をなくしてしまいます。その結果、うつ状態や心身症を呈する場合があります。また、不適切な対応から不登校になり、学齢期がすぎると引きこもりという状態に陥っている人も少なくありません。

どの子どもにもあるはずの明るい未来を守るために、発達障害を理解した上で、二次障害にならないようにするにはどうすればよいか、二次障害かもしれないと気づくためのポイントは何か、もし二次障害になったらどうすればよいかについて、長年、発達障害のある子どもの診断治療に関わってこられた金先生にお話しいただきます。

二次障害は中学生など年齢の高い子どもにだけ起こるものではありません。低学年の児童にも起こりうることと捉え、年齢に関係なく二次障害に気づくことができ、適切な対応できるよう、この機会に学びを深めましょう。

日時： 2019年10月12日(土) 10:00～12:30 (受付開始 9:30)

会場： 大阪医科大学 看護学部講堂 定員 200名

対象： 発達障害のある子どもの指導をされている教員・指導者、保護者など

講師： 金 泰子先生(大阪医科大学 発達小児科)

大阪医科大学小児科で心身症外来を担当されています。不登校や難病の子どもばかりではなく、これまでに数多くの発達障害のある子どもたちと保護者のことばに耳を傾け、治療にあたってこられました。日本各地で数々の講演をされ、そのお話からあふれ出る先生のあたたかさや力強い励ましに多くの方が勇気づけられています。2019年2月には読売新聞社主催厚生労働省等協賛の「第47回医療功労賞」(地域医療に献身的に取り組む人をたたえる賞)を受賞されました。分担執筆:「高機能広汎性発達障害の教育的支援」(明治図書) 連載「医療からみた発達障害の子どもたち」LD&ADHD 2009年No.29～2010年No.32(明治図書)など多数。

参加費:3,000円 当日現金でお支払下さい。口座振込による入金はできませんのでご了承ください。

申し込み方法: 大阪医科大学LDセンターホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html>からお申込みください。

お申込みを受付けますと、ldcenter-app@osaka-med.ac.jpより自動配信メールが送られます。メール受信の拒否などを設定されている方は、このメールアドレスを受信できるよう、設定の変更をお願いいたします。尚、お申込み後にキャンセルされる場合は、ldcenter-app@osaka-med.ac.jpにご連絡ください。

申し込み締め切り期日:10月5日

定員を超えたために、ご参加いただけない場合のみ、LDセンターより連絡いたします。ご参加いただける場合にはこちらから連絡をすることはありませんので、そのまま、講演会におこしください。講演会に関する新情報は大阪医科大学LDセンターホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/deps/ldc/index.html>にて提供いたします。

阪急電車をご利用の場合：京都線「高槻市駅」下車徒歩約10分

